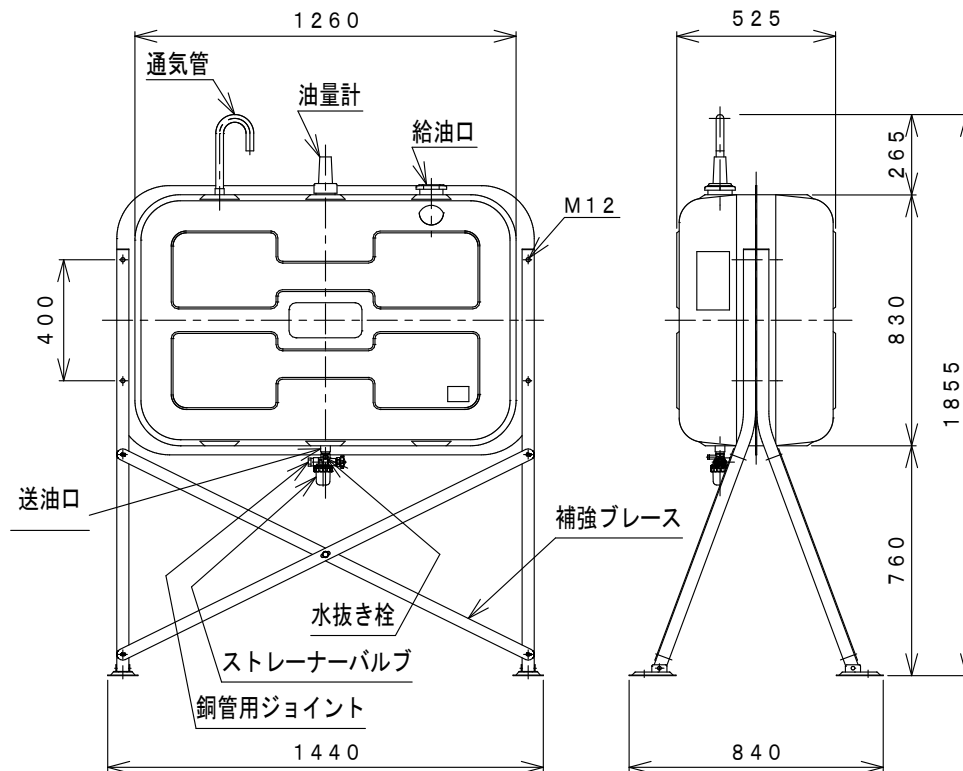
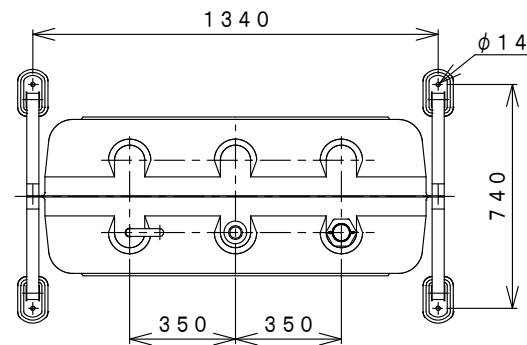


# サンダイヤ オイルタンク 仕様書

型 式		分 類 記 号
K S 2 - 5 0 0		S J 1
仕 様 明 細 書		
容 積	500 リットル	
使用燃料	灯油	
種類	据置式（脚部固定）・屋外用	
本体材質、板厚	溶融亜鉛メッキ鋼板、2.0mm	
脚材質、板厚	STKM、□40×1.6mm	
補強材質、板厚	溶融亜鉛メッキ鋼板、3.2mm	
溶接	シーム溶接、CO <sub>2</sub> アーク溶接	
塗装検査	ポリエステル樹脂静電粉体塗装 本体密閉後、49kPaの空気圧による全数検査 PEシート、エアキャップ	
油量計	無指向性フロート上下表示式	
給油口	φ60mm	
通気管	φ25.4、40メッシュ金網付	
送油口	Rc3/4 めねじ	
	ストレーナバルブ（R3/4×Rc1/2）	
	φ8鋼管用ジョイント付	
塗装色	本体・脚（ライトベージュ21）	
完成重量	約80kg	
耐震設計条件	「局部震度法」により、以下の条件以内でご使用ください。 （建築設備耐震設計・施工指針2014） 設計水平震度 K0 床に作用する水平震度、K0=通常は1.0（0.8~1.0） K1 建物の床応答倍率、（地上又は1階） K1=通常は1.0 Z 地域係数、Z=通常は1.0（0.7~1.0） β 本図オイルタンクの応答倍率、β=1.6 I 用途係数、I=通常は1.0（0.7~1.5） 耐震設計質量 W=通常は440kg（タンク+灯油質量） 基礎・ボルト あと施工接着式M12埋込長さ90mm以上。 基礎コンクリート設計強度1.8kN/cm <sup>2</sup> 以上。	
耐震性	1G対応。以下の通り1G（980ガル）相当以上の試験に対応しています。 神戸海洋気象台観測波（1995.1.17）の 120%条件にて三軸加振の耐震性確認。 最大合成速度：135（カイン）（1成分で108） 最大合成加速度：1450（ガル）（1成分で1300）	

注）タンクの設置については、据付説明書をご覧のうえ正しく設置してください。

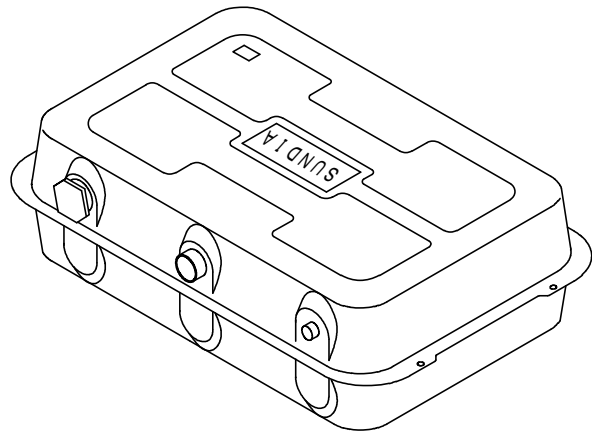


# オイルタンク部品一覧図

型 式	分類記号
KS2-500	SJ1

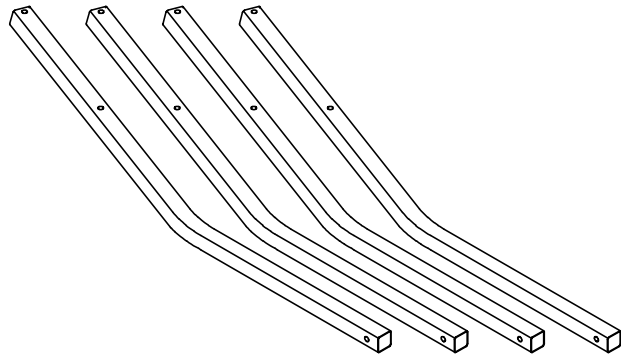
## 別梱包品

タンク本体 1個

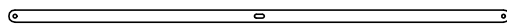


## 別梱包品

脚 4本

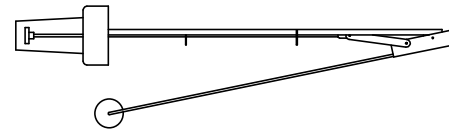


補強プレート 4枚 (全長1555mm)

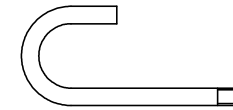


## 部品箱梱包品

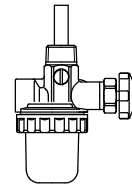
油量計 1個



通気管 1個



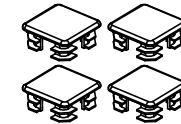
ストレーナバルブ 1個



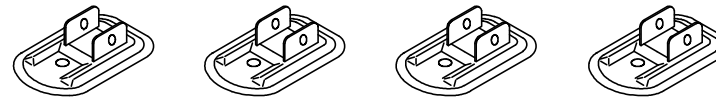
ジョイント 1個



脚キャップ 4個



脚プレート 4個



ボルト・ナットセット



M12×110 4セット

M10×65 12セット

M10×20 2セット